

地域気候変動適応計画策定マニュアルに 沿った計画素案作成

(テーマに即したタイトル)

例:地域気候変動適応計画策定に向けたWS

ワークショップの目的

計画策定の流れのイメージをつかむ 等

XXX

ワークショップのゴール

- ◆他の自治体と意見交換しながら策定の手順を体験することで、計画策定への意欲が高まる 等
- ◆XXX

地域気候変動適応計画策定マニュアル

地域気候変動適応計画策定マニュアル
－手順編－

令和 5 年 3 月
環境省

策定の標準的な手順に沿って
情報収集の方法や記載内容に
ついて解説

ワークショップで実施する部分

【STEP1】 計画策定／変更に向けた準備

【STEP2】 これまでの気候変動影響の整理

【STEP3】 将来の気候変動影響の整理

【STEP4】 影響評価の実施

【STEP5】 既存施策の気候変動影響への対応力の整理

【STEP6】 適応策の検討

【STEP7】 適応策のとりまとめと地域気候変動適応計画の策定

【STEP8】 地域気候変動適応計画の進捗状況の確認

ワークショップのながれ

1. 自己紹介、発表者とコメント担当決定（10分）
2. 課題①：地域で**気になる気象現象**を出し合う（10分）
3. 課題②：①の現象による**影響**を出し合う（25分）
4. 課題③：②の**影響の重大性と緊急性**を整理する（10分）
5. 課題④：③で整理した**影響**について**施策**を考える（20分）
6. 全体に向けて発表（15分）

計 90分

ワークショップのルール

- 他人の意見を否定しない。どの意見にも価値がある。
- 発言時間は1分以内が目安。皆さんに発言の機会を。

突拍子もない意見が革新を生み出すこともあるため自由な発想を進めましょう。

自己紹介（10分間）

- 下記の事柄について自己紹介（2分程度/人）
 - 名前
 - 自治体名と担当課
 - 趣味・最近あったいいこと
 - 本日の意気込み
- 発表者と感想を述べる人を各 1 名決める
 - **発表者**：グループの意見を最後に発表する。
 - **感想を述べる人**：隣のグループの発表に対する感想を述べる。

課題①（10分間）

自分の地域で気になる**気象現象**を出し合う

- 各自ピンクの付箋に記入（3分）
- 付箋を貼りながら一人ずつ発表（7分）

＜気になる気象現象＞

気象現象の例

- ✓ 豪雨の発生
- ✓ 夏日の増加
- ✓ 降雪量の減少 など

大雨の増加

課題② (25分間)

課題①の気象現象によって、どのような影響があるか、想定されるかを出し合う

- 各自きいろの付箋に記入 (10分)
- 付箋を貼りながら一人ずつ発表 (10分)
- 出された影響について意見交換 (5分)

影響を考えるヒント

- ✓ 食生活
- ✓ 生活用水、農業用水
- ✓ 自然災害
- ✓ 身の回りのいきもの
- ✓ 熱中症、感染症
- ✓ 地域の産業、観光
- ✓ 一市民としての暮らし、レジャー

<気になる気象現象>

大雨の増加
による洪水

<気になる影響>

洪水がさら
に頻発

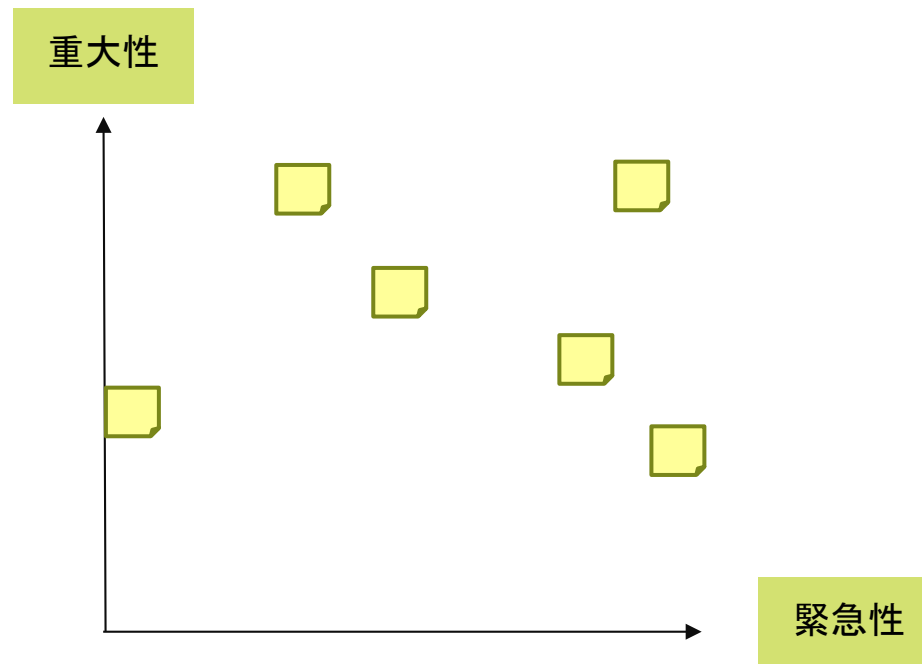
交通麻痺の
発生

沿岸域が居
住不可

課題③ (10分間)

課題②で出された気候変動影響の重大性と緊急性を整理する

- ・ グループ内で議論しながら整理する (10分)



STEP 4 影響評価の実施

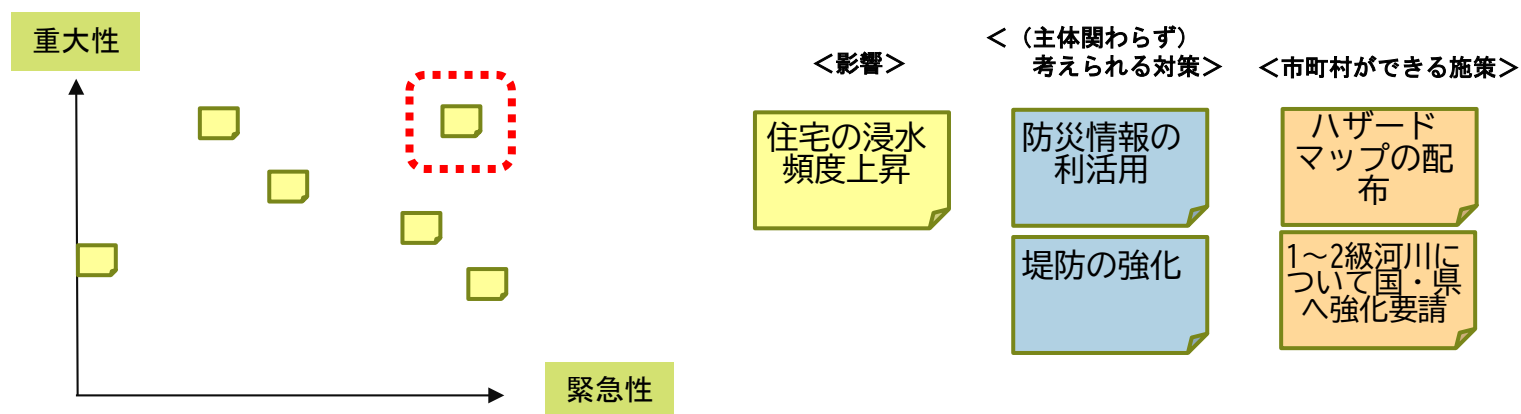
気候変動影響評価報告書（2020年）における「重大性」「緊急性」「確信度」の評価の考え方について

重大性	<p>社会、経済、環境の3つの観点で評価する。</p> <p>1.社会（人命の損失や健康面への負荷の程度等、地域社会への影響の程度等、文化的資産やコミュニティサービスへの影響の程度等）</p> <p>2.経済（経済的損失の程度等）</p> <p>3.環境（環境・生態系機能の損失の程度等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に重大な影響が認められる ・影響が認められる ・現状では評価できない
緊急性	<p>影響の発現時期や適応の着手・重要な意思決定が必要な時期の観点で評価する。</p> <p>影響の発現時期については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い…既に影響が生じている。 ・中程度…21世紀中頃までに影響が生じる可能性が高い。 ・低い…影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 または不確実性が極めて大きい ・現状では評価できない…現状では評価が困難なケース
確信度	<p>IPCC第5次評価報告書の確信度の考え方を準用。証拠となる研究・報告の質や量、見解の一致度の2つの観点を用いて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い…IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。 ・中程度…IPCCの確信度の「中程度」に相当する。 ・低い…IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。 ・現状では評価できない…現状では評価が困難なケース

課題④ (20分間)

課題③で整理した影響について適応策、施策を考える

- 1つの影響を選び、対策を各自みどりの付箋に記入
→迷ったら、重大性・緊急性の大きい影響を
- 対策を市町村が実施可能な施策を各自あお付箋に記入（上記と合わせて10分）
- 一人ずつ発表（5分）
- 意見をまとめる時間（5分）

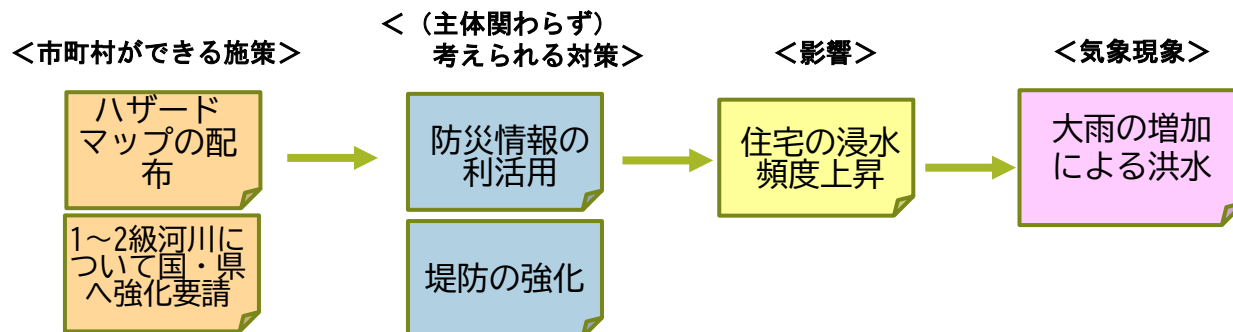


発表（2分/グループ）

＜発表の仕方＞

下記の順番で説明をお願いします。

→なぜこの施策が必要なのか、何に役立つのか



※発表に対して別グループからのコメント（1分）をいただきます。